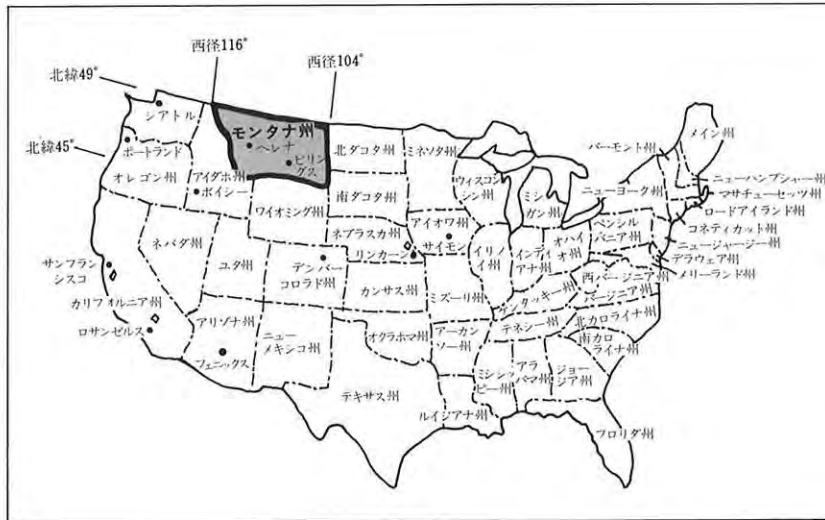


面積三八一、〇八六km²、人口七八六、〇〇〇人、州都 ヘレナ市

一八八九年明治三二年)米四十一番目の州として誕生。全米で第四位の面積をもつ州で、東西八〇〇km、南北四八〇kmに及ぶ。西部をロッキー山脈が南北に縦走している。東部地域の約三分の二は平原のため、こうした地理的環境から、西部地域では木材業・レクリエーション産業が、東部地域では、農業が主たる産業となっている。

気候は、海拔によって地域ごとに著しく異なる。例えば、年間の平均降雨量は三八〇mmであるが、地域によっては、一五〇mmのところもあり三、〇〇〇mmに達するところもある。都市部の日中平均最高気温は、一月のマイナス一・七℃から



楽しそうにおともやんを踊るモンタナ州の高校生



熊本県モンタナ州姉妹提携宣言書

七月の二九・四℃までの範囲にわたっている。
○産業 州の産業のうち最も重要なのは農業である。とりわけ小麦は、冬小麦、春小麦、デュラム小麦の三種類で、米國小麦生産の約七割を占める。また、その約六十五%が、西部各州および日本、韓国、インドネシア、フィリピンなどの太平洋沿岸アジア諸国に輸出されている。

特に、デュラム小麦は同州生産量の二〇%近くが日本に輸出されている。
牛の生産頭数は年間、一七五万頭で、同州に現在いる牛の数は約三三〇万頭を数え、これは全米で二・五割を占めている。

このほかの主たる農産物として、大麦、砂糖きび、豚、酪農品、羊などがある。鉱業生産も多く、そのうち四〇%近く

が、石油によるものであり、銅、石炭、天然ガス、銀がこれに続く。特筆すべきは石炭で、露天掘りによる採掘可能な石炭埋蔵量は、全米の二〇%を占めている。モンタナ州の二四%は森林地帯であり、これは全米の森林面積の九二・九%にあたる。木の種類としては、松、樅、針樅、杉などが主であり、材木の生産量も多い。

メッセージ

熊本とモンタナ

—遠く離れていても心は一つ—
モンタナ州 テッド・シュインデン知事

私と妻のジーンが、一九八一年十月に熊本を訪ねました時、沢田知事をはじめ熊本の皆様の温かい歓迎を受け、感銘するとともにとてもうれしく思いました。私達は、訪熊前の二週間、有益な台湾・

本州の旅を楽しんだばかりでしたが、熊本に到着し、飛行機から降り立った時は、郷里に戻ったような気がしました。熊本とモンタナの間には、はつきりと異なる点も確かにありますが、これほど大きさの違う二つの土地に、想像以上に似通ったところがあるのです。

モンタナの人口は熊本の半分ですが、面積は熊本の五十倍もあります。このように数字の上での違いはありますが、熊本とモンタナの自然環境は驚くほど似通っています。しかも熊本と同様、モンタ

ナの経済はその天然資源の上に成り立っています。熊本もモンタナも、主要産業は共に農業と林業です。熊本の広大な森林と畜産への熱心な取り組みを見て私達はモンタナを思い出しました。モンタナと熊本は、共に美しい自然の恩恵を受けております。熊本の山や森、それに絵に描いたような国・県立公園の素晴らしさは、何と表現して良いのかわからないくらいです。モンタナ同様、熊本の素晴らしい風景を觀賞しようと、毎年多くの観光客がやって来るとのことですが、熊本にとつてモンタナ同様観光事業がなぜその経済の重要な部分であるかということ

を、訪問してみても本当に理解することができました。
妻のジーンと私は、とりわけ熊本の人の暖かき、寛大さに心打たれました。熊本県の人々の御協力と御支援は勿論のこと、沢田知事夫妻の私達夫妻やマンスフィールド大使への手厚いもてなしに感謝しております。私達がそちらへ参りましてから、すでに一年以上の月日が経っていますが、私達の訪問のほのぼのとした快い思い出は、今でも私達の心を動かします。

そして熊本県民気質は、数多くの「くまもと」独特の特色をつくり出しています。そんな中で、県民が楽しく生活して

いる様子を見るにつけ、その個性豊かな氣質に引かれました。
その精神を見て私達は、モンタナの人々の州内での誇り、即ち一八〇〇年代、何もない草原だったモンタナを、今日の活力に満ちた発展的な州へと転換させている一種の誇りを思い出しました。

私達の経済の原動力となるのは産業です。しかし人々の原動力となるのは、誇りの精神です。誇りの精神は、創造性と革新を促進し私達の想像力をたくましくし、生活状態を改善する方法を産み出させます。熊本でその精神に触れた時、私達は郷里に居るような気持ちになり、モンタナと熊本が本当に似合いの姉妹であることを再確認しました。
熊本での三日半の日程を終え、ジーンと私は飛行機に乗り込み、帰途につきました。私達は、たしかに疲れてはいませんが、熊本県民気質について色々と思いつき、帰国後、モンタナの人々に伝えたいという気持ちでいっぱいになりました。
熊本とモンタナの姉妹州関係によって、私達は、それぞれの意見の交換が出来ます。それは我々二国間がより一層理解し合うためには、是非必要なことです。今回の訪熊で、今こそ熊本とモンタナの住民が、太平洋を越えて手を差し伸べ、友情の握手をする好機だと痛感したいです。



水前寺公園を散歩するモンタナ州テッドシュインデン知事